

JAやまがた

2

2021
Feb.

JAやまがた 2021 / 2月号 発行 / 山形農業協同組合 〒990-8535 山形市旅籠町1-12-35 TEL.023-641-3121 FAX.023-631-4714 http://www.jayamagata.or.jp/



02 特集 JAの未来

JAのうまみで溢れる 福祉センター青田10周年 衣・食・住・遊を楽しむ「第二の家」に

12 旬の料理 苺とベジタブルチョコチップス



JAやまがた
公式 Facebook



苺と
ベジタブル
チョコチップス

プロに聞く
やまがた
旬の料理

- 材料
- レンコン…約10g
- 菊芋…約10g
- 苺…2個
- ビターチョコレート…50g
- ホワイトチョコレート…50g
- 塩…適量

ワンポイントアドバイス

ごぼうやじゃがいもをスライスして作ってもおいしいです。盛り付けの際にデコレーションしても楽しめます!



佐藤 翼 / 「Ritz (suite) - lounge & bar [リッツ (スイート)]」 / 山形県産の素材を中心に、彩り豊かなイタリアンを展開。ヘルシーかつ満足度の高いメニューが目白押しです。豊富なカクテルメニューも美味しさに定評があります。 / 山形県山形市城南町1丁目1-1 霞城セントラル 24階 / ご予約・お問合せ TEL.023-666-3924 / 営業時間 18:00~25:00 / 定休 月曜



1 スライサーでレンコン・菊芋をカットし、1分ほど水にさらす。キッチンペーパーで水気を切って140度の油で色がつくまで揚げる。

2 苺を真ん中で2等分にし、ヘタのところに爪楊枝を刺す。揚げたレンコンと菊芋に塩をふる。



3 湯煎したビターチョコ・ホワイトチョコにレンコン・菊芋・苺をつけ、お好みの量でコーティングする。



4 クッキングシートの上へあげ、苺は冷蔵庫、レンコン・菊芋は冷凍庫に入れて冷やし固める。

オススメ読書



購読申し込み
経済課
TEL.023-624-8567



薬日本堂の
おうち漢方365日

薬日本堂 監修

日本一の漢方専門店が教える、体と心に役立つ漢方・薬膳の知恵を365日分紹介。季節の不調を改善する食べ物や、疲れを癒す入浴法、漢方ならではの美容法など、1日1ページ読むだけですぐに使える情報が満載。定価(税込)1,650円



きのこ・海藻・ネバネバ・発酵食で
藤井恵の免疫力を高める
かんたんごはん

藤井 恵 著

免疫力アップにつながる注目腸活。藤井恵さんが食べ続けている、腸に効く4つの食材を使った手軽なレシピを厳選して紹介!より健康効果を高める「βカロテン・たんぱく質」を組み合わせたおかずも多数。定価(税込)1,540円



JAのうまみで溢れる 福祉センター青田10周年 衣・食・住・遊を楽しむ「第二の家」に

JAやまがた福祉センター青田は2010年10月に開所し、2020年に10周年を迎えました。センターでは、利用者の皆様が「衣・食・住・遊」を健康で楽しく暮らせる「第二の家」のような空間づくりをしています。JA管内の組合員さんのご協力のもと「食」にこだわり、JAらしい魅力あるセンターに成長しています。開所当初からセンター長を務める五十嵐浩美さんに10年を振り返りながらお話を伺いました。



仲間意識が芽生えています

— 開所当初と現在で変化はありますか。
五十嵐 10年間夢中で駆け抜けてきました。「食」の根本を組合員の皆様・協力隊の皆様を支えていただき本当に感謝しています。
以前は私たちがご利用者を誘導して手を引き生活をしていいたのが、最近ではご利用者の意志に添って私たちが補助をしながら寄り添うという形に切り替わってきています。ご利用者自身がここに慣れ親しんで下さったことから、自分を出せる場になってきているのかなと思います。畑はすっきり、ご利用者の指導をいただきながら作物を育てています。
ご利用者のそういった姿勢がすごく強く芽生えてきていると感じ、大変心強く共に通所介護で暮らしているという手ごたえがあります。
今までは各ご自宅から集まったお一人お一人のご利用者、何か活動することも単独発想だったのが、チームワークが



五十嵐浩美センター長

強化された利用に変わってきています。それが『第二の家』というところに繋がってきたのかなと思います。
JAのうまみを存分に活用した施設

— 福祉センターのPRポイントを教えてください。
五十嵐 様々な場面で女性部のボランティアさんや組合員

の方、JAの職員がセンターに来てくださいます。豊富な情報・コミュニケーションがもたらえるというのはご利用者に励みとパワー、刺激と出会いをいただいています。協力隊員さんも含めて外部の方からの影響力というのは、JAの福祉センターならではのこゝかなと思います。
また、食と精通した施設は、このコロナ禍で買い物に出れないご利用者がいらつしやるなか、直売所等を通しての移動販売、女性部のジュース加工所と青菜にかかわる面々の方々からのご協力があり、コロナ以前と変わらない食の確保ができています。JAらし

さを出すことは、すごく生活の助けになります。
いきいきとした人生を送る手助けを
— これから目指していきたいことはありますか。
五十嵐 JAの総合事業(営農・金融・共済)とさらに繋がりを強化しお互いに様々なサービスをご利用者に提供していければ、よりよい福祉事業を展開できると思っています。
そして、自分の親や身内、いずれば自分自身にも訪れる老後に安心して利用したいと思えるケアと見守り・気配りが

できる施設にしたいという思いは開所当初から変わっていません。センターの職員一同一杯、汗水流してきた先輩方の人生の手助けをさせていただきます。

10月8日 開所10周年祭



岡崎輝明組合長
「今後もJAの強みを生かし、安全安心な地元の食材を使って、ご利用者の皆様においしい食事の提供をしていきたい。健康で楽しくセンターをご利用ください」

■本店職員の笹原稜一さん(入組1年目)と深瀬綾乃さん(入組2年目)がセンターを訪れ、『新採職員・2年目職員の農作業研修』で収穫した、里芋7*とサツマイモ10*をプレゼントしました。

■1月7日(木)
例年あぐりスクールで使用している田んぼは、今年度、山形市農業振興公社さんより管理していただきました。そこで収穫したお米「はえぬぎ」を福祉センター10周年記念として、本店の佐藤隆之主事と丹野知美さんがセンターを訪れ、ご利用者さんにお贈りしました。



今月の表紙 / 福祉センターご協力隊の皆さん



表紙写真前列左から

●舟越 隆さん / そばの提供

「これからは食材を提供していきたい。福祉センターは私の行く道。将来お世話になるといつもセンター長に話しています」

●理事 佐藤吉子さん / 四季折々たくさんの野菜の提供

「女性部南沼原支部でお手玉を作って寄贈したこと花笠踊りを披露したことが思い出。ご利用者の方がとても元気でスタッフの皆さんに感謝しています」

●理事 鏡 恵子さん / ぶどう狩り・干し柿・アロニアジャムの提供・ボランティア活動

「干し柿を作る時、収穫、皮むきと全部ご利用者さんがしてくれて感心しました。私自身すごく元気をもらっています」

●梅津 実さん / ぶどう狩り・ボランティア活動(ピアノ演奏)

「マリンバを担当した元JA職員の櫻庭さんと梅櫻コンサートをしたことが農業新聞で紹介され、それを読んだ神奈川県JAから連絡をもらってやりがいを感じました」

後列左から

●横山忠司さん / 大根・里芋・そばの提供、センターの除雪作業

「身体の続く限り、協力隊として頑張ります」

●鈴木静子さん / 食用菊の提供・ボランティア活動

「協力隊の皆さんがセンターで様々なことをしていて、ご利用者さんも楽しそうに活動していると感じました」

●栗原美枝子さん / リンゴの提供

「皆さんが健康で元気に生活できるように、美味しく安全安心なリンゴを提供していきたいです」

●鏡 惣一郎さん / 梅・山菜・そばの提供

「私の母も福祉センターにお世話になり良くしていただいている。協力していきたいです」

●JA職員 河合美千代さん / ボランティア活動(サクソス演奏)

「ご利用者さんが興味深く演奏を聴いてくださり、喜んでいただきとても嬉しかったです」

都合により写真撮影時欠席

●齋藤律子さん / 畑苗の提供・ボランティア活動

福祉センター青田 事業内容

通所介護事業

衣食住遊を大切にしたいJAやまがたのうまみで溢れ、ご本人とご家族が 一楽しく健康(幸せ)に暮らす—そんな空間(家)をめざします。

- ご利用時間 / 9時45分~16時
- 定員 / 30名 介護保険1~3割ご負担にてご利用
- ご利用内容 / 入浴、機能訓練、食事、趣味活動、送迎等

お弁当事業

デイサービスご利用者の夕食用お持ち帰り弁当を提供しています。

福祉相談窓口

自分のこと、家族のこと、地域のこと…心配なこと、お困りなこと、不安なこと、なんでもお気軽にご相談ください。ご要望によりお伺いいたします。

皆さんに選んでいただけるセンター、ご利用者が楽しみながら通っていただけるセンターを目指します

お問い合わせ

〒990-2435 山形市青田1-4-21
TEL.023-616-8002 FAX.023-631-3830
(月曜日~土曜日 8:30~17:30)

通所介護事業所所長 高野 昭太さん



ご自宅での暮らしを続けられるよう、ご利用者・ご家族に寄り添ってケアをさせていただきます

訪問介護事業所所長 本間 由紀さん



(株) 農協観光への旅行手配業務移行のお知らせ

当組合の事業につきましては、日頃より格別のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

この度、長年にわたりご愛顧いただきましたJAやまがた旅行センターは、令和3年2月26日をもって、旅行手配業務を(株)農協観光山形支店へ業務移行する運びとなりました。

当JAおよび(株)農協観光では、引き続き地域の皆さまに「楽しみ」「生きがい」「仲間づくり」を提供する旅行業務に取り組むため、皆様にご満足いただける対応を心掛けてまいりますので、今後ともお気軽にご相談いただきますようお願い申し上げます。

1 JAやまがた旅行センターの最終営業日

令和3年2月26日(金)

※既に旅行申込みをいただいているお客様につきましては、(株)農協観光山形支店にてご対応させていただきます。

2 新業務体制での取扱開始日

令和3年3月1日(月)

3 旅行に関するご相談・お問い合わせ

令和3年3月1日以降は、以下のとおりです。



| | |
|----------|---|
| お問い合わせ先 | 当JA各支店又は金融共済部 TEL.023-624-8251 (取次業務) (株)農協観光 山形支店 TEL 023-622-2750 (山形市七日町3丁目1番16号 山形県JAビル1階) |
| 営業時間(平日) | 午前8時45分～午後5時00分 ※土日曜日・祝日・年末年始は休業日となります。 |
| 各お申込み方法 | 【宿泊(個人)、パック旅行、航空券、JR券等について】 当JA各支店又は金融共済部、(株)農協観光山形支店へお申込み下さい。 ・各お申込みは出発日の8日前までの受付とさせていただきます。 ・お渡しは、JA各支店又は農協観光山形支店にてお渡しいたします。 ・お支払は、金融機関振込又はコンビニ決済となります。 ※別途手数料が必要です。 【グループ旅行、団体旅行について】 当JA各支店又は金融共済部、(株)農協観光山形支店へお申出下さい。 ・(株)農協観光山形支店の担当者がお伺いし、旅行相談させていただきます。 |



家の光協会より新刊のご紹介



『家の光』の人気連載「美輪明宏の人生相談」をまとめた最新刊です。

コロナ禍が続くいま、世の中は混沌とし、生きづらさを感じている人、不安に押しつぶされそうな人であふれています。波乱万丈の人生を生き抜いてきた御年85歳の美輪氏が、あらゆる悩みに、厳しくもやさしい言葉で答えるメッセージ集です。

『ほほえみを忘れずに。ルンルンでいきましょう』著者 美輪明宏
定価 1,540円(税込)

お申込み 各支店 または 本店経済課 TEL.023-624-8567

棚卸休業のお知らせ

下記の日程で棚卸を行います。棚卸当日は各店舗の購買業務を休業とさせていただきます。ご協力をお願いいたします。

棚卸実施日

- 広域配送センター
令和3年2月26日(金)
- グリーンやまがた
令和3年2月27日(土)
- 支店、営農・農機センター
令和3年3月1日(月)

令和3年(2021年)「国民の祝日の変更」について

東京五輪延期に伴い、令和3年の祝日が右記のように変更となること、令和2年11月27日に正式に決まりました。

令和3年当JAカレンダーは、変更前の日程で作成しておりますことを、ご了承ください。

- 海の日 変更前 7月19日(月) → 変更後 7月22日(木)
- 山の日 変更前 8月11日(水) → 変更後 8月8日(日)
※8月9日(月)は振替休日
- スポーツの日 変更前 10月11日(月) → 変更後 7月23日(金)

理事会だより

今回の報告・協議された項目から抜粋して掲載しています。

第11回理事会 〔12月28日開催〕内容より

● 報告事項

・JAやまがた
未来プロジェクト会議の
目的と協議事項

・内部会議・研修会等

・オンライン化の導入と今後の対応
ライフプランサポートの実践

・令和2年度産米集荷状況
令和2年度産米大口出荷

・令和3年度産米生産数量の目安
支店における

・営農相談業務体制

● 協議事項

・総代選挙に係る日程表

・「育児休暇等に係る規程」

および「介護休業等に関する
規定」の一部変更

・第7次中期経営刷新計画の
一部変更並びに機構再編に
かかる体制整備及び

業務改善計画

役員より vol.20



理事
古熊博明

JAの現状と未来

春の気配を徐々に感じる季節となり、組合員の皆様は農作業が始まっていることと存じます。今、JAが抱えている問題は「高齢化による担い手不足」「労働力不足」「農地面積の減少」と様々な課題があり生産性が低下しています。これを打開するには、第7次経営刷新計画を確実に実行し「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の実現に向けて取り組みを強化し、JA経営基盤を確立していかなければなりません。

また、役職員の使命は「現状実績を確保して、さらに伸ばすこと」「先を見つめる力を発揮し未来ビジョンを描き方向性を示すこと」「未来を担う人材を育てること」だと思います。

最後にコロナ禍に負けず、頑張ってください。



12月22日(火) 上山市特産「紅干し柿」学校給食で味わおう!



上山市食育等推進協議会は、旬の特産物を学校給食の食材として使用し、児童生徒が地場産物に対する理解を深め、郷土を大切にすることを育むため、市内全小中学校で「干し柿給食」を実施しました。上山市特産の「紅干し柿」を2050個が提供され、一人1個味わいました。

また、上山南小学校には「きたざわeco農園」の北澤正樹さんと上山市役所職員が訪れ、3年生を対象にした食育講話が行われました。北澤さんが紅柿の特徴を説明した他、干し柿クイズや干し柿の作り方を動画で紹介し、児童は楽しみながら学び、生産者と交流を深めました。

1月12日(火)～15日(金) 山形市の初市 代替イベント

江戸時代初期から続く伝統行事、「初市」が新型コロナウイルス感染拡大で中止になったことを踏まえ、代替イベントが山形市役所の敷地内東側で開かれました。会場では五穀豊穡や家内安全を願う団子木や初あめ、商売繁盛を祈った大カブ、白いヒゲのように長寿を願うアサツキなどの縁起物などが販売されました。

先祖代々カブやアサツキなどの野菜を毎年初市で販売する下青柳の熊谷さんは「例年より人出は少ないが、毎年、縁起物のカブやアサツキを買い求めて来てくれるお客様がいてありがたい。カブは大きく真っ白な肌仕上がりと、とても品質が良いものがそろった」と話していました。



イベントでは、入退場の動線を分離し、入り口では検温と手指の消毒など感染防止対策を徹底していました。

1月4日(月) 新年を迎え 事業繁栄祈願祭



当JAでは新年の仕事始めの日に「事業繁栄祈願祭」を行っています。常勤役員と各部の部長、(株)ジェイエィあぐりん山形の社長と本部長は山形市旅籠町にある「里之宮 湯殿山神社」を参拝し、事業の繁栄と五穀豊穡を祈願しました。

鶴岡市にある湯殿山本宮が約1400年前の丑年丑日に開山されたことを由縁に丑歳御縁年といわれ、ご縁のある丑年に参拝すれば、12年分のご利益が授かると言い伝えられています。また、「里之宮 湯殿山神社」参道右手には「願い牛」が鎮座しており、自分の身体の良くなってほしいところと同じ箇所を撫でると良くなるといわれています。



現在は、新型コロナウイルス感染症予防のため願い牛に手を触れることができません。

12月26日(土)～27日(日) 山形牛応援フェア

おいしさ直売所3店舗で、「おうちで食べよう!山形牛応援フェア」を開きました。当JA管内の山形牛生産農家の方々がこれからも美味しい山形牛を生産できますように、そして皆さんに旨い山形牛を食べてもらいたいと企画しました。

当日は(株)山形県食肉公社より平尾喜代春さんが生産した5等級の山形牛が搬入され、特別価格で販売されました。移動店舗車で販売した落合店の店舗前には、次々とお客様が訪れ、午前中に品切れとなる商品もありました。

山形の自然が育んだ山形牛は、肉のキメが細かく甘みがあり、やわらかくジューシーな味わいです。



12月10日(木) 上山市で ラ・フランス給食デー

上山市食育等推進協議会は、上山市の市内全小・中学校で「おいしいラ・フランス給食デー」を実施しました。11月20日に行われた「かみのやまラ・フランスセレクション」で最優秀賞を受賞した生産者3人の西洋梨「ラ・フランス」約540個が提供され児童らは給食で味わいました。

中川小学校に、同セレクションで最高賞を受賞した関野繁雄さんと上山市役所職員が訪れ、1年生から3年生を対象に食育講話を開きました。関野さんは「ラ・フランス」のクイズや平棚仕立ての無袋栽培について説明した後、児童からの「ラ・フランス」の値段や県外でも買えるのか、収穫後に予冷する冷蔵庫の広さなどの質問に答え交流を深めました。



「ラ・フランス」は9日に同市立保育園にも約40個提供されました。

12月15日(火) 一足早い春を届けよう 啓翁桜目ぞろい会



広域啓翁桜部会は西部集荷場で出荷を目前に控えた「啓翁桜」の目ぞろい会を開き、生産者やJA職員ら約20人が参加しました。

県村山総合支庁農業技術普及課職員より生育状況、JA全農山形職員より市場情勢についての報告後、目ぞろい会を実施。同部会の山口大会長、斉藤稔副部長が中心となり、生産者が持ち寄った「啓翁桜」のサンプルを見比べながら、花芽の付き具合、出荷規格の確認、促成管理の注意点などを確認しました。

啓翁桜は歳暮や正月飾り、3月の「桃の節句」の装飾に人気が高く、同部では来年4月上旬頃まで、約11万本を関東や関西方面に出荷する計画です。

12月9日(水) 果汁100% 山形地区女性部リンゴジュース

山形地区女性部ジュース加工グループは、福祉センター青田で利用者の方へリンゴジュースの即売会を開きました。グループの今野幸子委員長と栗原美枝子副委員長が訪問し、リンゴ「ふじ」と「ふじ」に「紅玉」をブレンドした、2種類の果汁100%ジュースを販売。

栗原副委員長が「メンバーが栽培したリンゴを絞って作った無添加のジュース。寒い時期は温めたり、紅茶に混ぜて飲んでもおいしい」と紹介しました。試飲をした利用者の方からは「いい香りがしておいしい」と声が上がると、準備したジュースは瞬間に完売。今野委員長は「栄養満点のリンゴジュースを飲んで風邪をひかないように過ごしてほしい」と笑顔を見せていました。



おいしい農産物をどうぞ
各地の食育活動を紹介します

10月30日(金)
かみのやま子ども食堂 かえる家
ラ・フランス、
ランチョンマット贈呈
JAグループ山形

11月10日(火)~11日(水)
出羽小学校/明治小学校/
大郷小学校
ラ・フランス贈呈
中央果樹部会



11月30日(月)
山形南高校男子バレー部
(春の高校バレー出場激励)
新米「つや姫」、山形牛贈呈
JAやまがた、JA山形市、JA共済連山形



11月18日(水)
陽だまり子ども食堂
新米
「はえぬぎ」
贈呈
(株)全農
ライフサポート山形



12月3日(木)
西山形小学校
キウイフルーツ給食
西部果樹組合キウイフルーツ部



12月9日(水)
本沢小学校
青菜漬給食
(株)ジェイエイあぐりんやまがた



山形市の畜産農家 平尾喜代春さん一家
4人が丑年生まれ

令和3年1月7日発行
日本農業新聞
で紹介されました。

山形市で和牛肥育を営む平尾喜代春さん一家は、家族7人のうち4人が丑年生まれです。令和3年1月7日発行の日本農業新聞で紹介されました。

児童養護施設に山形牛を贈り続けて20年 山形市より感謝状贈呈

平尾さんは2001年の牛海綿状脳症(BSE)問題が発生した時、地元の消費者団体と山形市が肉牛肥育農家を応援してくれたことから、感謝の気持ちを込めて山形市の児童養護施設「山形学園」に「山形牛」を贈り続けています。今回で20回目となることから、12月18日、山形市役所で佐藤孝弘市長より平尾さんに感謝状が贈られました。

平尾さんは「52年間、牛にこだわって頑張ってきた。BSEの風評被害の時は皆さんのおかげで乗り越えることができた。元気である限りプレゼントを続けていきたい」と話し、佐藤市長は「山形牛は先人の様々な努力があって守られてきたブランド。毎年、山形学園の子ども達に楽しみをいただきありがたい。一生の思い出に残る」と感謝の言葉を述べられました。

プレゼントした「山形牛」10頭は11月に開かれた第43回山形県牛枝肉共進会で優良賞に輝いたものです。同施設では翌日19日に開いたクリスマス会で提供されました。



平尾さん一家



12月2日

農政対策協議会

本店で「農政対策協議会委員代表者会議」が開かれ、常勤役員や各地区の支部長らが出席しました。

協議

(1) 農政活動経過報告について (右表/一部抜粋)

(2) 水田農業対策について

■当JA管内*における令和2年産米「生産の目安」目標数量達成率は110.8%、転作達成率は112.0%でした。
※山形市の面積換算には、JA山形市管内の面積も含まれます。

■今後の対応について

令和3年

2月/各営農センター・各地区水田営農協議会

- ・各農業者へ令和3年産米「生産の目安」の配分
- ・転作計画 (備蓄米・新規需要米等非主食用米の取り組み) 取りまとめ
- ・集団転作・団地化推進

3月/転作計画調整

- ・水稻生産実施計画兼営農計画書(水稻共済細目書) 取りまとめ
- ・集団転作・団地化計画確定
- ・土地利用集積・作業受委託調整

4月~5月/営農計画確定

- ・米出荷契約申し込み取りまとめ
- ・とも補償・互助制度加入手続き

6月/転作確認

- ・転作実績の集計確認

| | |
|-----------|--------------------------|
| 5月19日 | JAやまがた盗難防止対策広報車出発式 |
| 7月3日 | 農政対策協議会委員代表者会議 |
| 8月17日 | 令和2年 食料・農業・地域政策確立山形県要請集会 |
| 10月7日~12日 | 山形市内小中学校「芋煮給食」里芋PR消費拡大 |
| 12月2日 | 農政対策協議会委員代表者会議 |



12月14日~16日

常勤役員と女性農業者との
ブロック別懇談会

女性目線による農業の考え方、未来農業の方向性など、より多くの声を協同活動に反映させ、アクティブメンバーシップを強化することを目的に、常勤役員と女性農業者との懇談会を管内3ブロックに分かれて開きました。出席者を女性農業者に限定し常勤役員と気軽に、活発に、自由に話せるようワイガヤ形式で行われ、それぞれのブロックに常勤役員5名と女性理事2名、各ブロックの女性農業者が出席しました。

岡崎輝明組合長は「女性農業者は感性が非常に高く、女性目線での農業の考え方、JAへの要望意見などを、自由に話してほしい。今後は女性がますます活躍する社会となり、農業分野においても皆様のアイディアと英知ある意見が重要になります」とあいさつ。

参加した女性農業者からは「直売所での販売の仕方」「生産者への指導」「介護施設の充実」「若手農業者が交流する場の提供」などの意見にそれぞれ常勤役員が答えました。

当JAは自己改革の取り組みの一環として、第7次中期刷新計画の中で、「組合員との対話活動の充実」を掲げています。2019年度は次世代農業者を対象に懇談会を開きました。

※17日に予定していた北部ブロックの懇談会は天候不良のため中止となりました。



